

三小だより 4月号

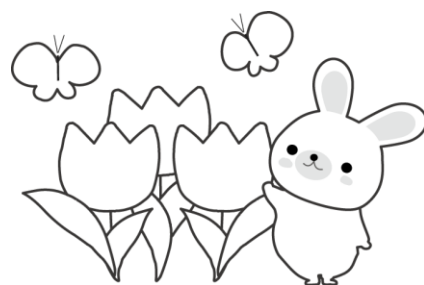
平成26年4月8日(火)

信頼関係の中でこそ豊かな教育が展開される

校長 藤本 賀津雄

本年度、本校に赴任いたしました校長の藤本でございます。昨年度まで西小学校にお世話になっておりました。前任の寺井校長からバトンを受け取り、三小の子どもたちの幸福のために全力で走りぬいてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、教育に当たって最も大切なことは何でしょう。私は「豊かな愛情に支えられた信頼関係」だと思っています。年度当初、三小の先生方に「子どもにとって最大の教育環境は教師自身である」という話をしました。先生が変われば子どもも変わるという意識で教育に当たってほしいという願いをしました。先生は子どもたち一人ひとりのことが大好きで、子どもたちも先生が大好きだという関係の中でこそ、豊かな教育が展開されると思います。ちょっとした変化も見逃さず子どもたちの心に寄り添ってくれる先生、そんな大好きな先生が褒めてくれたり喜んでくれたりするから、もっと頑張ろうとする子どもたち、このような信頼関係の中でこそ、子どもも先生も伸びていくのだと思います。



そこで、保護者の皆様へのお願いです。子どもの前で絶対に先生の悪口を言わないようにしてほしいのです。先生の悪口を言って子どもが良くなるのならどんどん言ってもらって結構ですが、先生の悪口を聞かされた子どもは先生を信頼しなくなり、先生の言うことも聞かなくなります。授業中も勉強に身が入らなくなり、結果的に子どもは悪くなっていきます。これは私が長年教育現場で見てきた事実です。逆に先生のいいところを見つけ、「今度の先生は優しそうやね」「丁寧に声をかけてくれる先生やね」「字のきれいな先生やね」等々、保護者の方が先生を褒めてくださったら、子どもたちも更に先生を好きになり教育効果がどんどん上がっていきます。先生のことが好きだから理科が好きになり、将来理科系に進んだというような話はよく聞きます。先生の教育の仕方に対して、何か疑問や不審に思うようなことがあれば子どもの前で言わないで、直接先生に話すようにしてください。

この一年間、子どもが大きく成長してくれるよう心から願っています。保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。